





【2014年度】

日時	内容	詳細・報告
12/6 (土)	<p>アメリカ研究センター主催シンポジウム 「憲法改正と集団的自衛権をめぐる 一日米比較研究と日米関係の展望」</p> <p>講師/辻雄一郎氏（筑波大学人文社会系准教授） 演題/「日本国憲法改正をめぐる最近の議論について —米国憲法からの比較検討2014—」</p> <p>講師/菅英輝氏（京都外国語大学外国語学部客員教授） 演題/「アメリカの世界戦略の変遷と集団的自衛権をめぐる論議 —安保再定義の歴史—」</p> <p>コメンテーター/倉持孝司氏（南山大学法務研究科教授）</p>	 <p>詳細報告</p>
11/29 (土)	<p>南山大学「国連アカデミック・インパクト」関連事業 アメリカ研究センター・地域研究センター共同研究主催 ラテンアメリカ研究センター共催</p> <p>「戦争の記憶、スペインと沖縄」</p> <p>●午前の部：英米学科 川島ゼミ3年生発表会 （批評）畠山一郎氏（同志社大学教授） （内容）アメリカが日米戦争を“Good War”と呼ぶのは妥当か？ —日本人として沖縄戦を通じて考える</p> <p>●午後の部：講演会 講師/川成洋氏（法政大学名誉教授） 演題/内戦後の「国際旅団」の運動について</p> <p>講師/畠山一郎氏（同志社大学教授） 演題/「沖縄戦を想起するということ—記憶と病の間」</p>	 <p>詳細報告</p>
10/11 (土)	<p>地域研究センター主催、アメリカ研究センター共催 地域研究センター共同研究「『記憶』の共有を目指して」 第6回シンポジウム （2014年度第1回シンポジウム）</p> <p>アジアでの和解を目指して（その2） —第二次世界大戦終結70周年を前に</p> <p>報告者/中野 涼子氏 （シンガポール国立大学助教授、 南山大学社会倫理研究所非常勤研究員） 演題/多民族都市国家シンガポールにおける 「日本占領期」の記憶の忘却と再生産</p> <p>報告者/Ve-Yin, Tee氏 （南山大学外国語学部英米学科講師） 演題/The Unauthorized History of the Japanese Occupation</p> <p>*使用言語：一部英語（必要に応じて日本語の説明あり）</p>	 <p>詳細報告</p>
5/24 (土)	<p>アメリカ研究センター主催、外国語学部・大学院国際地域文化研究科・名古屋アメリカ研究会共催講演会 「市民権法とトンキン湾事件50周年にちなんで -『人種』差別撤廃とベトナム戦争の『アメリカ化』を考える-」</p> <p>特別講師/Peter Jeffrey Kuznick氏（American University） "The U.S. Invasion of Vietnam: A Tragic Mistake or Imperial Expansion Run Amuck?"</p> <p>講師/藤本 博氏（南山大学外国語学部教授） "Legacy of Tonkin Gulf -"American War" in Vietnam-"</p> <p>講師/川島 正樹氏（南山大学外国語学部教授） "Historical Significance of the Civil Rights Act and the 1960's"</p>	 <p>詳細報告</p>